名古屋外国語大学 国際経営学部・現代国際学部 同窓会報
NACION vol.7
2011年3月22日発行

発　行：名古屋外国語大学国際経営学部・
現代国際学部同窓会事務局
〒470-0197愛知県日進市岩崎町竹ノ山57
TEL： 0561-74-1111（大学代表）
HP： www.nacion.jp
SNSサイト： www.nufsplus.net
Email： info@nacion.jp

第６回総会及び懇親会

2010年7月10日（土）、第6回総会及び懇親会を開催し、約30名の会員と約20名の教職員の方々にご参加いただきました。

当日は名古屋外国語大学7階1階食堂に会場をお借りし、13時30分より総会を開催しました。新会長の畑恵会長の挨拶から始まり、「2009年度決算報告」と「2010年度予算案」の審議を行い、全員一致で承認されました。総会後、14時30分より同会場にて懇親会を開催し、まず始めに水谷修学長よりご挨拶を頂戴しました。そして玉井学部長による乾杯の挨拶でお茶会が始まりました。

今年は、『いつも出席してくださる同窓会員とより親密に』をテーマに開催されました。同窓会役員そして大学関係の方々も大変喜んでいました。ご参加いただきました皆様、どうもありがとうございます。

2011年も懇親会を開催します。今までご参加いただいた方もまだ参加したことのない方も、同窓会に関心を持っていただくことで母校の発展にもつながります。ご参加を心よりお待ちしています。

● 第6回総会及び懇親会次第

日　　時：2010年7月10日（土）13：30～15：30
会　　場：名古屋外国語大学7号館1階
総会次第：1. 開会の辞
2. 同窓会長挨拶
3. 現代国際学部長挨拶
4. 議　事
① 2009年度決算報告
② 2010年度予算案
5. 閉会の辞
懇親会次第：1. 開会の辞懇親会
2. 学長挨拶
3. 乾杯（現代国際学部長）
4.（食事・歓談）
5. 同窓会顧問挨拶
6. 閉会の辞

● ご出席いただいた教職員の皆様（順不同）

中西　克彦（中西学園理事長）
玉井　俊紀（学部長）
権　　泰段（教授）
水野　積成（教授）
阿部　彰彦（教授）
浅野　輝子（准教授）
浅川　健次（参与教授）
植松　千里（名誉教授・退任）
熊田喜三男（名誉教授・退任）
林　　茂雄（名誉教授・退任）
武田　修治（事務局長）
浅野　昌章（学生課長）
児玉　通夫（庶務課長）
水谷　修（学長）
蔵田敏明（学生部長）
木村友保（教授）
林　慶雲（教授）
塩見治人（教授）
宮川公平（先生）
市岡　高（事務局次長）
青木康祝（教務課長）
その他教職員の皆様

先生のあしあと

現代国際学部の教員から同窓生へ、社会人の先輩としてメッセージや教訓を頂戴しています。

『新人大学教員の履歴』

国際ビジネス学科
阿部　彰彦 教授

昨年４月より国際ビジネス学科でファイナンス関連の講義を担当しております。教職につくまでの30数年間は銀行、証券、銀行系シンクタンク、格付会社で金融マンとして過ごしてきました。『新人大学教員の履歴』をご紹介します。

大学を卒業した1977年に東京銀行（現三菱東京UFJ銀行）に就職しました。当時この銀行は唯一の外国為替専門銀行として国内30に対し海外100拠点を展開する都市銀行でしたから、外国で働きたいと考えていた私にとって大変恵まれたスタートでした。この銀行における23年間の勤務のなかで、英国マンチェスター大学の留学を含む２回、通算７年弱を英国で勤務しました。私の初の海外渡航でもあった1980年代初頭は、英国の景気はどん底でしたが、Prince CharlesとPrincess Dianaのご成婚は明るい出来事となりました。ところが、２度目の1990年代初頭に入るとお二人の関係はいよいよ破局を迎えてしまいました。首相が国会で正式に離婚を公表したBBCニュースを聞きながら、私は列車が切り離される時によく聞くseparateという単語には別の意味があることを知りました。

その後2000年に英銀の証券子会社に転職し、債券引受とデリバティブ商品の営業責任者として激しく収益を追う（ノルマに追われる）生活を送りました。私にとり最初の外資企業勤務、なかでも最も戦闘的な投資銀行部門の仕事に身を置いたことになります。国籍に関わらず組織には良い面と悪い面の両面があるものですが、外資では日本企業で慣れ親しんだ思考方法を切り替える柔軟性が求められます。私にとって本格的な頭の中のリセットを求められた最初の職場だったように思います。ここでは営業現場の最前線と経営陣の顧問職の通算５年間在籍しました。

次に転じた先がメガバンクのシンクタンクの研究員の仕事でした。ここでは財務省の金融技術支援プロジェクトのメンバーとして、ベトナム政府に対する国債市場の決済インフラ整備と対日貿易金融における円の利用を促進するためのコンサルタント業務を２年間担当しました。通算すると３ヶ月程度はハノイに滞在しましたが、私が通ったころの2004年前後のベトナムは、人口は日本の３分の２程度と大きい割にGDPは100分１と大変な状況でした。それでも容貌や物事の考え方が日本人によく似たところのあるこの国の人々は、思わず応援したくなる真面目さと有能さをもっています。枯葉剤や不発弾の被害は戦後30年以上を経て今なお残り、戦争さえなければ彼らがライバル意識を燃やす隣国タイとの間にも、これほど大きな経済格差をつけられることもなかったのにとも思いました。また、私達のベトナム語の発音は、外人慣れしていない一般のベトナム人には簡単な挨拶程度でも通じません。しかも英語はエリートにしか通じない国です。かくして大和魂の国際金融マンは、街へ一歩出た後は身振り手振りと微笑外交だけを頼りに生活しておりました。

最後の４年間は大手外資格付会社のクレジットアナリストとして債券の格付業務を担当しました。業界は自治体や政府機関、医療法人等の非営利公共部門でした。特に病院や診療所を経営する医療法人の金融は、経済政策面からも金融面からも解決すべき課題が多い分野です。金融の研究者としての勉強を続ける所存です。

振り返れば国際金融の様々な現場で金融マンとしては恵まれたキャリアを積むことができ、仕事で訪問した国も30カ国を超えました。金融知識は政府、企業、家計を問わずあらゆる経済活動を数字に置き換えて評価することができる、世界に開かれた共通言語です。学生の国際業務についての関心を刺激し、実務の現場の金融センスと基礎知識を分かりやすく学生に伝えることができるよう精進してゆく所存です。

学問ができることできないこと：「他者」に出会う面白さと勇気

現代英語学科
鶴本　花織 准教授

名古屋外国国語大学で教えはじめて早七年経ちました。その間、学生に何を教えるべきなのか、あるいは、何が教えられるのかという問いに対し、定まった答えが見つからないままここまで来てしまいました。その代わり見えてきたのが、自分が学問を通じて何を得たのか、そして、学問から得られないものは何か、ということです。

私は、七歳から一五歳までの間をアメリカで生活していたため、「帰国子女」と呼ばれて育ちました。アメリカに居る間は「ジャパニーズ」、日本に戻ればアメリカかぶれの「ヤンキー・ガール」と見なされる状況にもよく遭遇していました。これらの経験ゆえんか、「自分って一体誰なんだろう」と幼い頃からよく考えていました。もちろん、ミシェル・フーコー（1926-1984）というフランスの哲学者が指摘するよう、こういった自己アイデンティティの悩みは近代的な主体が自らを形成するための登竜門と呼んでいいようなものであって、私が「帰国子女」だったのは付随的な要素だったと言っていいでしょう。それでも、異なる国家で生活し、多くの「外人」と出会い、また、「外人」とみなされる状況に置かれて幼少期から生きていたことが「他者」への関心を私にとって必然なものにしたということも事実だと思います。

「他者」の認識は、比較という行為がともなうものであり、「他者」との出会いは自己否定という結果をもたらすことは珍しいことではありません。（もちろん、相互肯定に基づいた他者認識という手も可能は可能だと思います。アメリカの「文化の坩堝（melting pot）」という発想やスマップの「世界に一つだけの花」のメッセージがその類のものでしょう。ただ、ここで謳歌されている他者肯定とは、内向いたい自己が「私は私で好きにするから、あなたはあなたで好きにしていいのよ」と謳っている要素が強く、無干渉の約束が前提になっているような気がします。）少なくとも、私にとっての他者との出会いは楽しさがともなわないこともよくあったし、苦悩にさらされることも決して珍しいことではありませんでした。それなのに、「私は何て恵まれていたのだろう」と今になって思います。「他者」との出会いは「考える」動機を私に与えてくれたからです。自己アイデンティティに悩む私は、多くの面白いネタとより深い理解を学問から獲得しました。また、「他者」とのさらなる出会いへと学問は私をいざなってくれました。本を読み、知識を得るのは自己再帰の機会となり、本当に楽しい作業でした。

ただ、学問が私にどうしてももたらしてくれないものもあります。失敗や敗北を乗り越える勇気は、どれだけ本を読もうが知識を増やそうがなかなか得られませんでした。また、私は「教える」ことを職業としていますが、残念ながら、勉強しただけではこれは身に付かないようです。もちろん、世の中にはありとあらゆるマニュアル本が出回っていて、こういう書籍を読みますし、こういう本に助けられることもあったと思います。でも、力強く人生を歩むたくましさやノウハウは、経験からしか身に付かないみたいです。失敗や敗北を経験しても死にはしないし、自分がどれだけ落ち込もうが夜は明けるものだということを身をもって体験して強い精神力はやっと備わるみたいですし、教える技術も経験を積んだぶんだけ上達するようです。つまり、学問は、他者の出会いから得られる面白さを私に教えてはくれたものの、他者との出会いを求める勇気は、経験に迫られて獲得するようなものだと私は感じます。

私事になり恐縮ですが、私自身がいま取り組んでいる課題はこの後者の部分です。そのために、私はどうしても色々考えたり本を読んだりするわけですが、そんな中、アップル社CEOのスティーブ・ジョブズ氏が二〇〇五年に行ったスタンフォード大学の卒業祝賀スピーチに最近出会いました。歴史に残る名演説と評価されているだけあって、日本語訳も幾バージョンかネットに出回っています。なので、一五分に渡るこのスピーチの全容をここで紹介する必要はないかと思いますが、彼がスピーチの締めくくりに卒業生たちに伝えた台詞をここで共有したいと思います：「ハングリーであれ。愚か者であれ。」これはつまり、年を重ねるにつれて弱ってしまう勢いを忘れずに人生を歩め、という意味だと思います。

私が学問を志したのは、否応無しに出会う他者性を頭のなかで整理するためにだったかと思います。それは私にとっては必要な作業だったし、その結果、私は他社性を面白いと思えるようになりました。でも、実のところ、他者性は畏怖の対象として依然と認識し続けました。その認識は賢明だと思いますが、今はそれをかなぐり捨てて愚かになることを選択したいです。そうすることによって、失うものもあると同時に得るものもあるからなのではなく、失うものは何もない、と考えて。

『感謝の気持ち』

皆さん、こんにちは同窓会役員副会長の浅井恭子です。

昨年で結婚10周年をなんとか迎えました。子供は3人、そして今年大厄です。同窓会の役員になった経緯は大学で働いているということで元学部長の植松先生からお話を頂きました。内心「こりゃ困った。」と思った覚えがあります。しかしやってみると意外に楽しく、現在では大親友の石井恵美子（旧姓　石垣）さんも参入し、今ではやり甲斐をフツフツと感じています。

名古屋外国語大学周辺で一番の大きな出来事はと言えば愛・地球博ではないでしょうか。皆さんは行かれましたか？世界中の国々が集まり、日本の威信を掛けたEXPO 2005 AICHI,JAPANは素晴らしいものでした。私は名古屋に移り住み、母校で働けて本当に感謝しなければならないと感じています。今でもサツキとメイの家は観覧可能ですので一度見てくださいね～。

毎年『同窓生の今』を楽しみにして下さる読者の皆さん、今年は番外編ということでこんな私の話ですがどうぞ暖かく見守ってくれると嬉しいです。

親友石井恵美子さんと中国返還前に上海にいった時の写真です。彼女とは世界中色々旅行しました。

名古屋外国語大学に入学した頃は、周囲の雰囲気に馴染めず自分の殻に閉じこもりがちでした。きっと皆さんも同じ不安な気持ちだったと思います。特に経営学部とあって将来起業したい、もしくは家業を継ぐ予定の子達ばかりで、私とは全く環境が違っていました。しかし私は大学で人生を左右する人に沢山出会うことができました。最初は友人です。彼女はベリーショートの髪型で、すらっとしたスタイルに都会の匂いをプンプンさせたすごくお洒落な女性でした。いつも本を読み、博識でユーモアのセンスは抜群、女性の私ですら彼女に惚れてしまいそうでした。彼女はいつも海外の雑誌を読んでいました。「ELLE」「VOGUE」「COSMOPOLITAN」「SPUR」「Marie Claire」私にとっては初めて見るものばかりで戸惑うばかり。そして彼女の話はいつもウィットに飛んでこれぞ外国語大学なのかと心底感じました。大学4年間は彼女と一緒に色んな事を学びました。そんな彼女も結婚し、今では子供も産まれました。今でも学生の頃と変わらぬスタイルを保ち、いつも読書をし、そして相変わらず私に刺激を与えてくれます。私が女性に生まれたからにはお洒落を楽しみ、常に自分を向上させる努力を惜しまないようになったのはまさに彼女のお陰なのです。

次に出会ったのが熊田喜三男先生です。愛称「くまちゃん」。学生にここまで親しまれる先生も珍しいですが、とにかく関西弁で「よう、やらんわ～。」が口癖でした。小さな体でいつも学生のレポートが入ったお揃いの紙袋を持って歩く姿はまさにロボッツ、ロドニー。結婚し、仕事も辞めて途方に暮れていた私に大学院への道を進めてくれ、そして一生懸命指導してくれました。私はとにかく、くまちゃんの一生懸命に応えるために勉強しなければならないと思ったのを記憶しています。くまちゃんはまさに小さな巨人です。こんな私に勉強の楽しさ、勉強する意味を教えてくれたのはまさに大きな心を持った小さな巨人熊田先生なのです。

大学院を卒業して面倒をみてくれたのが元学部長の植松千里先生です。私だけかもしれませんが、植松先生はルパン三世の銭形警部にそっくりなんですよね。下まつげが長いところや、いつもトレンチコートを羽織って怒っているように見えるところなんてまさに銭形警部。しかしNUFSの銭形警部はソニー人事開発部長を経験されていただけあって、とにかく労務管理が抜群でした。こうやって指導するのか、こうやって人事を進めるのかと学ぶことは多く、先生と過ごした3年間は私にとってかけがえのない時間でした。そんな先生も今年で79歳です。いつまでもお元気で同窓会顧問を続けて欲しいものです。

最後はやはりこの人です。現代国際学部長　玉井俊紀先生。玉井先生には授業運営の仕方等中々他の先生には教えてもらえないことを沢山指導してもらっています。誰も面と向かっては言いませんが、学生の間では「たまちゃん」と呼ばれています。私も一度間違って玉井先生にたまちゃんと呼んでしまったことがあります。体全身汗びっしょりになってしまいました。まさに眠れる獅子といった感じで、いつも黙って人の話を聞き、自分からはあまり発言しないことで有名です。ですが頭の中ではフル回転で相手の話を処理する人間コンピューターなのです。そして一番すごいと思うことは時間の使い方がとにかく上手いことです。学部長となると日常業務に加え、学生の指導、教員の統括、大学会議、そんな過密スケジュールの中、涼しい顔で仕事をこなす姿をみると大した仕事もしていないのに毎日走り回って、ちょっとしたパニック状態の私をどう見ているのだろうと不安になる時があります。

こうして私の人生は名古屋外国語大学に入学してから大きく様変わりしたのですが、きっとこれからも色々な人に出会い、刺激を受け、成長していくのだと思うと期待で胸が躍ります。皆さんも同窓会に是非出席して旧友と親睦を深め、先生方に元気な姿を見せに来てください。それは意外に自分にとって大きな変化に繋がるかもしれませんよ。私も皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

眠れる獅子こと玉井学部長と。

同窓会事務局では、「同窓生のいま」へのご投稿を随時受け付けています。現在の近況等を1,200～1,500字にまとめて、写真とともに事務局までお送り下さい。（文章と写真はなるべくデータでお送りください。）

ご投稿いただいた内容は順に会報に掲載させていただきます。尚、掲載させていただいた方には謝礼として3,000円分の商品券を進呈いたします。多数のご投稿をお待ちしております。

お問い合わせ・送付先 → info@nacion.jp

現代国際学部ニュース

再び「不易流行」！

卒業生の皆様、元気にお過ごしのことと思います。

激動の時代。少し前のことが、何年も前のことのように思えるほど、変化の大きさに戸惑います。不易流行という言葉があります。もとは芭蕉の言葉で、「不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず」の意味ですが、現代的に解釈しなおせば、「不変の真理を知らなければ基礎が確立せず、変化を知らなければ新たな進展がない」（「無用の用」と「不易流行」http：//svrrd2.niad.ac.jp/faculty/ogiue/essay/math.html）です。

現代のように、目まぐるしく変わる世の中。時代に対応して、新しいものを求めるのはもちろんですが、変わらず、求め続けるものもあります。大学でいえば、建学の精神であり、学部が掲げた教育目標は守り続けなければならないものです。ただし、時代に対応して、新しいものを取り入れるには、大胆に積極的に取り入れるべきであることを教えています。

卒業生から激励の言葉をいただきました。

2010年3月に、卒業後の状況について緊急のアンケートをしました。一昨年のリーマンショック以後、学生の就職状況は急速に厳しくなりました。その中で在学生、特に就職を控えた3年生、4年生に激励と参考になるご意見をお願いしました。回収率が思ったほど高くなかったので冊子の発行は断念しましたが、ホームページに掲載しています。在学生への激励の言葉や寄せられたご意見の一部を以下に掲載します。

いま就職活動をしている学生や、今後していく学生の方々が、実際に働いているOB等と交流する機会があれば、皆さんも働くということや社会に出て行くというイメージがしやすいのではと思います。（実際に行っているかもしれませんが）そのような機会作りに貢献できればとは思いますので、OBと学生の交流を深める場があればよいのではと感じています。

卒業してからも名古屋外国語大学を卒業したことを誇りに思っております。グローバルな環境を持った母校で送った大学生活のおかげで、視野を大きく持ち、現在の仕事や生活においても心にゆとりを持つこともでき、充実して毎日が過ごせと降ります。そのため、常に前向きに向上心を持って仕事に励めております。在学生には名古屋外国語大学の特色、グローバルなカリキュラム、留学生との交流を最大限に活用し素敵な大学生活を送っていただきたいです。

新入生97名を迎えました。

4月には、新入生97名を迎えました。恒例となったフレッシュマンキャンプをアネックスホテル鳥羽で開きました。例年、「国際ビジネスの学生は社会からどのように期待されているか」を主テーマに、外部の方の講演や工場見学などを実施してきました。今年は週末の土曜日になったこともあり、例年とは少し異なった内容でしたが、新入生にとって新しい大学生活への決意を固めるよい行事となりました。フレッシュマンキャンプでできなかった工場見学は2期講義前の9月13日に実施しました。訪問先は瀬戸にある「ホーユー」です。製造されている商品のCMも流されており、使ったこともあるため身近に感じ、関心が高かったようです。業績の良い理由も発見でき、ビジネスを勉強する目的も理解できたという感想が寄せられました。

オープンキャンパスでは卒業生の皆さんにもお世話になりました。

オープンキャンパスは、夏休み中の7月と8月、12月に計3回行いました、オープンキャンパスでは、本学に入学を希望する高校生を対象に、現在の学科の教育の特徴を良く知ってもらうことが入学の大きな動機になると考え、昨年から卒業生の方に学科の教育を語ってもらっています。自分たちが学科ですごした4年間と受けた教育について、ありのままに話してもらっています。今年は、2009年3月の卒業生3名と2010年3月の卒業生に話をしてもらいました。今後も卒業生の方、後輩の為に良い話をお願いします。

3つのアドバンテージ。

私たちの大学は、中部圏唯一の外国語大学という特徴を活かした教育と実学を重視してきました。それは、その後のグローバル化の進展から、英語などの外国語の重要性は広く認められ、そしてそれを活かすためには、実学を重視してビジネスなどを学ぶことが必要なことはますます強く認識される様になりました。本学が歩んできた道は、時代を先取りしたものだと思います。

現在、国際ビジネス学科では、学科教育の特徴を3つのアドバンテージとして掲げ、教育の中で具体的な取り組みにつなげています。3つのアドバンテージとは、1. 英語とそれを活かすビジネスを学ぶことができる。2. 大学キャリア教育の伝統がある。3. コミュニケーション力などの人間力の養成を目指す活動を展開するの3つです。

この困難な時代の中でも、われわれ大学の教職員が気持ちをひとつにして、目標の達成に努力することにより、成果は形となって現れると思います。これは、卒業生の皆様にとっても誇らしい学科になることにつながり、連帯感とか、愛着などの感情を生み出すことになります。母校は、そのようなものでありたいと思っています。「不易流行」の精神をしっかり保持していきたいと思います。最後に、卒業生の皆様の今後のご健勝をお祈りするとともに、様々な形での後輩への激励や指導をお願いしたいと思います。

2010年度４月～９月　行事等一覧

４月　１日　入学式（現代英語学科：150 名、国際ビジネス学科：97 名）
４月 12 日　１期授業開始
７月 23 日　１期授業終了

４月５日　英語力テスト（TOEFL 試験）

現代国際学部発足以来、英語力向上のために、学内を試験会場として、年間数回にわたり TOEIC 試験や TOEFL 試験を行ってきています。今回の TOEFL 試験は、新入生全員が受験しました。この試験の成績は同封の「各種英語テスト結果」に載せています。これら一連の試験によって、自分の英語力の把握、学生自身による学習計画作り、継続的な指導に役立つと考えています。

５月 17 日～５月 28 日　クラスアドバイザーとの個別面談

本学では、すべての教員が、12 ～ 15 名の学生のクラスのアドバイザー（担任）を務めています。**フレッシュマン・キャンプ**などの行事では、このクラスでミーティングなどを行います。また、クラスアドバイザーは、随時、大学生活や学習・進路に関する相談や助言も行います。入学後１ヶ月経過し、新しい生活も少し分かってきたこの時期に、クラスアドバイザーが個別面談によって、学生ひとりひとりの問題の把握と相談を行いました。

６月末～７月上旬　交換留学生候補の募集と決定

本学では、各種の留学制度を設けており、約 1/3 の学生が在学中に留学を経験しています。今回は交換留学制度を利用して行われる「長期留学」について、募集説明を行い、来年度中に留学する候補者の決定を行いました。なお、２年生の応募者は 30 名で、その中から「特待枠」２名、「一般枠」５名の交換留学候補生と 23 名の認定留学候補生を決定しました。現代国際学部では、２年次以降の秋学期に３ヶ月間留学する「中期留学制度」も設けており、今後、募集と選考を行います。

８月１日～ 30 日　学外研修　（イギリス・ウィンチェスター大学にて）

例年夏と春の休暇中に、４週間の日程で、英語を母語としているカナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド等の国々へ、海外研修（短期留学他）を行っています。今年の夏期の研修は、イギリスの古都、ウィンチェスターにあるウィンチェスター大学で行いました。今回の研修では現地にて他国の留学生と共に授業を受け、大学での活発なアクティビティやホームステイを通して英語力とイギリス文化の知識を高めました。また、ロンドンはもちろんのこと南イングランドを代表する近隣都市を見学する日帰りの観光も豊富でした。これらの研修では、いずれも本学の常勤教員が研修期間の全体にわたって現地に付き添い、研修先の大学と協力して、指導や相談などに当たっています。なお、今回の参加者は合計 17 名（内２年生が 13 名、３年生が４名）で、１年生の参加はありませんでしたが、例年、春の研修では１年生の参加人数が最も大きな割合を占めます。

８月 30 日～９月２日　夏期集中英語セミナー　（愛知健康プラザにて）

夏休みを利用して、愛知健康プラザにて、本学外国人教員（英語ネイティブ・スピーカー）と 15 名の学生による、「英語で暮らす４日間」（日本語使用厳禁）の夏期集中英語セミナーを行いました。今年の参加者は全員１年生でしたが、例年このセミナーには将来的に短期・中期・長期留学を目指す学生の参加が多く、これを第一ステップとして捉え、積極的に活動に取り組む姿が今年も印象的でした。英語を用いた多様なアクティビティ（スキット・・・チームで寸劇を作って演じる、クイズ、作詩、スポーツ、映画鑑賞、ディスカッション）を通じ、かつ寝食を共にすることで参加学生は英語のスキルアップに努めました。

文化をテーマにした英語ネイティブ教員とのディスカッション（右）自作の英語の詩を発表する学生（右下）

現代英語学科の行事

→４月２日～３日　フレッシュマン・キャンプ（浜名湖ロイヤルホテルにて）→→→→→→

本学科では、現代の先端的分野「ジャーナリズム・メディア」「観光・ホスピタリティ」「国際交流・ボランティア」「通訳・翻訳」「英語教育」において英語力を発揮しながら活躍できる人材育成を目指しています。そこで、例年入学直後に行われるこのフレッシュマン・キャンプでは大学生活はもちろんのこと、その後の授業に早期に融合できることを目的とし、英語を用いた様々なアクティビティを行います。１日目の第一部ではドッジビー大会で相互交流を図り、第二部では、クラスアドバイザーグループごとに分かれて個々人を知ることができる英語スゴロクや Find someone who…という共通点探しを英語で行い、皆明るく、積極的に取り組んでいました。夕食後の第三部では上級生らによる各教員の紹介が行われ、各教員の担当科目や専門分野についての説明を興味深く聞き入っていました。２日目の第一部は上級生による学生生活紹介、英語ネイティブ教員を交えての「英語 de しゃべろう」を行い、会場は学生の活気で湧きあがっていました。キャンプの最後にはホテル近隣の浜松フラワーパークへ場所を移し、春の花々や桜を見ながら園内を巡り、これから学びを共にする仲間と打ち解けあう姿が印象的でした。

ホテル前での集合写真（バス１号車、写真上）

２日目午前の部、上級生による学生生活紹介（写真下）

雄踏総合体育館でのスポーツ大会。チームを作り、ドッジビーをトーナメント形式で。（写真上）

全員がオペラ鑑賞にふさわしいようドレスアップしてきました。オペラを鑑賞する前、教員と共に。（愛知県芸術劇場大ホール前）

→６月５日　教養文化セミナーⅠ（オペラ鑑賞）

１年次から３年次まで年１回、教養文化セミナーと題して行われる一連行事の最初に位置づけられている学科イベント。よく知ってはいても実際には接触する機会がほとんどない伝統文化に直接触れる目的で、オペラ鑑賞が１年生の１期に行われています。今年は、歴史的にも名高いウィーン、シェーンブルン宮殿劇場のオペレッタ『こうもり』を鑑賞しました。会場は愛知県芸術劇場大ホールでした。これがきっかけで多くの学生が本物に触れる素晴らしさを知り、今後の人生の糧としてくれることを期待します。

NACION スピンオフ企画

同窓会役員中村憲広がご案内する満観峰ツアー

行ってきました、満観峰（まんかんほう）。

我らが同窓会のスピンオフ企画として山登り企画が立ち上がり、10 月 16 日土曜日にその記念すべき第 1 弾として静岡県は焼津市に位置する満観峰に行ってきました。
同窓会役員の中で山登りが趣味の私、中村がプロジェクトリーダーに選ばれ？全行程の企画をしました。
歩行時間は往復で 2 時間弱の初心者向け。
大和武尊が東征の際に越えたと伝えられる日本坂峠から、
満観峰を往復する、古の道を辿るコース。
独特の風情が醸し出される茶畑の間をゆっくりと歩いて、
のんびりとした山行を楽しんできました。
満観峰だけでなく静岡市近郊の山は、
何と言っても富士山の眺望が最大の魅力。
（名前の通り、静岡市街、秀麗な富士山、南アルプス深南部の山々、駿河湾、伊豆半島と満観の展望は標高 470 メートルの低山にもかかわらず超一級だと思う。）
満観峰からは富士山に加えて太平洋も望める。
以前に登山した山で、登山中に知り合った年配の女性の方々（登山では色んな方と出会い、知らない方とでさえ山登りの話に華が咲くことも珍しくない）が、
今までに登った山で一番良かった山として紹介してくれたのがきっかけで、ずっと頭の中にあり、登りたい山として聳え立っていた。
1 年を通じて気候が温暖なだけに、繰り返し訪れたくなる魅力があると言われている。
実際私も繰り返し訪れていて、今回で 3 度目である（笑）
決して、標高が高いとは言えないこの山には、
頂上にいる登山者の方々の話を小耳に挟みながら聞いていると判るのだが、
毎週登っているようなリピーターが数多くいるのも特徴だ。
さて当日は、名古屋駅に 7 時に集合し、
レンタカーで借りた大きなワゴンを快調に走らせること 2 時間半ほどで静岡県は焼津の法華寺に到着。
今回参加したメンバーには登山初心者の方もみえたので、
登山時間など全ての行程に時間幅を持たせてはいたものの予想外？に時間がかかり途中でタイムスケジュールを柔軟に調整しながらの、それでも楽しい 1 日でした。
参加したメンバーはこの山登りをとても楽しみにしてくれていましたので、ワイワイやっている楽しい雰囲気の中では少々のスケジュール変更など大したことではありませんでした。
山登り開始 20 分後には、『もう大変だから、下山したい！』と汗だくの真顔で言っていた方も、頂上ではあまりの爽快さと気持ちよさに登りの苦労を忘れていた様子。
頂上では私が持参したバーナーを使い、ホットコーヒーを淹れ、最高の景色を眺めながらコーヒーを飲みました。
たぶん、最高に美味しいコーヒーだったに違いありません！（笑）

下山後は、山登り後の楽しみの一つでもある食事の時間。
そこは、魚介類で有名な焼津市。焼津漁港の周辺には、新鮮な魚介類をふんだんに出してくれる料理店が数多くあります。
今回は、地元でも有名で芸能人も頻繁に訪れるという「郷土料理 黒潮」へ。
やはり、魚が新鮮でとても美味しかった。
もちろん漁港として名高い焼津には、湯量が豊富な焼津温泉があります。
泉質はアルカリ塩化ナトリウム泉で、神経痛、リウマチ、冷え性などに効くのだとか。

ということで、欲張りな私の企画はというと食事後まで、バッチリ。
我々一行は、山登りでかいた汗を流しに焼津温泉まで堪能しました。
夕方 6 時には名古屋駅に到着。
第一回目のスピンオフ企画、全行程無事に終了する事できました。
参加された方々から大変満足のお声を頂く事ができ、
私はなんとか役目を果たすことが出来ました！（笑）
ありがとうございました。

（レポーター：同窓会役員 95 期生 中村憲広）

同窓会スピンオフ企画第２弾

北アルプスを楽しもう !!

山岳コースに不安の方は温泉コースも！

日　時	5 月 21 日（土）　＊雨天の場合は 28 日（土）に順延
場　所	奥飛騨温泉郷･新穂高ロープウェイ（岐阜県高山市に位置します）
主要時間	12 時間 （名駅午前 7 時集合・午後 7 時解散）
参 加 費	6,000 ～ 8,000 円 （交通費・昼食費・保険料等）
案 内 人	中村憲広（役員）＋その他役員
申込〆切日	5 月 9 日（月）
申 込 先	info@nacion.ne.jp

奥飛騨温泉郷、そこは北アルプスと露天風呂の里

日本の屋根北アルプスの懐に抱かれた奥飛騨温泉郷。大自然の恵みを受けてゆったりとした時間が流れています。自然との語らいの中から、平湯・福地・新平湯・栃尾・新穂高というぬくもりのあふれた 5 つの温泉地が育まれてきました。山里ならではの郷愁を誘う風情と、日本一といわれる露天風呂、そして、四季折々に豊かに表情を変える自然がうれしい、心にほんのりしみてくる日本のふるさとです。

五つの温泉地

奥飛騨温泉郷は点在する 5 つの温泉地を総称しています。北アルプスの直下、大自然に包まれている新穂高温泉。温泉郷の基点、家族的な雰囲気の栃尾温泉。奥飛騨の中心に位置し、賑わいをみせている新平湯温泉。時間を遡ったような、懐かしさを醸し出す福地温泉。古くから温泉郷の要衝として栄え、風格ある趣の平湯温泉。澄んだ空気を肌で感じ、せせらぎを耳で聞き、広い露天風呂で思いっきり手足を伸ばし、そんなリラクゼーションのためのエリアです。

同窓会本部より

新年のあいさつ

春の風が心地よい季節となりました。同窓会員の皆さまには、お元気にお過ごしでしょうか。皆様がご健勝であることを願うばかりですが、世界中で災害が起こり不況が続く不透明なこの時代、将来に対する不安を抱いている人も多いのではないかと思います。こんな時こそ、少し気分を変えて同窓会の集まりに参加してみてはいかがでしょう。同じ大学に通っていたというだけで、世代を超えて友人や家族のように接することができる。日常では見えない情報や価値観に触れ、明日の自分への自信と励ましを得ることができる。そんな時間を過ごせることと思います。2011年も懇親会やプチイベントを実施します。お時間に都合が付けば、ぜひ参加してみて下さい。卒業後の空白の時間を超えて楽しい時を過ごせるはずです。今年もたくさんの会員の皆さまとお会いできることを願っています。麗らかな春と共に皆様の上にも幸せが訪れますようお祈り申し上げます。

役員紹介

会長
畑　恵

同窓会をみんなで盛り上げていきましょう。
よろしくお願いします。

副会長
浅井　恭子

副会長になりました浅井恭子です。
今後とも同窓会を宜しくお願いします。

副会長
登立　洋平

少しでも多くの卒業生とのつながりを作りたいです。

会計
岩出　朋子

同窓会を通じて新しい「出会い」や「チャンス」を創りだせるような活動をしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

事務局長・会計
石井　恵美子

事務局長兼会計係を務めさせていただきます石井恵美子です。同窓生の皆さまの親睦深めると共に母校の発展のために活動していきたいと思います。今後も同窓会をよろしくお願いいたします。

書記・会計監査
中村　憲広

新年あけましておめでとうございます！本年もどうぞよろしくお願い致します。
楽しい企画を考えていきますので、時間があればご参加下さい。

書記・会計監査
瀧　浩史

一期生の瀧浩史です。皆様が気軽に参加出来る同窓会にしていけるように頑張ります。

NACION スカラーシップ

NACION スカラーシップとは、在校生への支援を目的とした奨学金制度です。何かを学ぼうとしている学生で金銭的な支援者を必要としている学生を募集し、その内容によって奨学金を一人あたり上限 20 万円まで支給します。

同窓会は今後も、何かを学びたくても金銭的な理由でそれを断念しているような学生を支援していきたいと考えます。皆様から頂戴した寄付金の一部もこの奨学金として活用させていただきますので、もっと多くの学生を支援できるよう、益々のご協力をよろしくお願い申し上げます。

萩原　理仁 くん

現代英語学科　2 年生　09031109

担当者から奨学金合格の通知を頂いた時、もの凄く嬉しかったことを今でも覚えています。しかし、金額を見た時に少し悔しい気持ちもありました。というのは、私は満額の 20 万円を本気で頂きたいという気持ちで今回の面接に臨んだからです。自分の面接での力不足を痛感しましたが、この面接も凄く良い経験になったと思います。

奨学金の使い道ですが、私は留学費に全額あてます。この 11 月にオーストラリアに留学しますが、そこでは英語のスキルアップを図ることの他にも目的があります。それは、国際的な感覚を磨くことです。リーマンショック以来低迷する多国を尻目に徐々に回復しつつあるオーストラリア経済。そんな国にいる同年代の学生達は自分たちの将来についてどのようなビジョンを持っているのか、彼らと私の感覚的違いは何か、それらを知ることによって少しでも視野を広げればと思います。

会　計　報　告

■ 2009 年度決算

（単位：円）

収入			支出		
項目	金額	摘要	項目	金額	摘要
前年度繰越金	12,430,026	三菱東京 UFJ 銀行	卒業行事等援助費	244,300	同窓会のしおり、卒業記念品、卒業パーティー援助費
会費収入	2,280,000	平成 21 年度卒業生（@10,000 円× 228 名分）	総会費	2,914,206	案内状作成&送付、懇親パーティー代、講演会費用、抽選会景品代、余興謝礼、その他備品等、礼状（参加者）
寄付金	2,000		広報費	516,801	会報作成、送付代、執筆者謝礼（VISA ギフトカード）
セミナー参加費	4,000	12/12 セミナー参加会員（@ 1,000 円× 4 名分）	事務費	464,318	会議費及び交通費、人件費、事務用品費（封筒、紙、PC ソフト、筆記具など）、銀行振込手数料、雑費
預金利息	3,382	三菱東京 UFJ 銀行	奨学金	0	在校生向け奨学金「NACION スカラーシップ」
			会員データ・ホームページ等管理費	63,551	ホームページ維持管理、会員データ管理にかかる費用
			キャリアアップ支援費	101,780	名刺交換会案内状、キャリアデザインセミナー実施費用
			予備費	88,200	水谷学長の喜寿の祝い品
				269,955	同窓会事務室設置に係る設備費
合計	14,719,408		合計	4,663,111	

次年度繰越金額　10,056,297 円（14,719,408 円 − 4,663,111 円）

■ 2010 年度予算

（単位：円）

収入			支出		
項目	金額	摘要	項目	金額	摘要
前年度繰越金	10,056,297	三菱東京UFJ銀行	卒業行事援助費	250,000	同窓会のしおり、記念品、卒業パーティー援助など
会費収入	2,300,000	2010 年度卒業生 230 名分（見込み）	総会費	700,000	総会運営（案内状送付、資料作成、懇親パーティー代など）
受取利息	3,000	三菱東京UFJ銀行（見込み）	広報費	500,000	同窓会報制作費［7 号］・送付代
			奨学金	200,000	在校生向け奨学金「NACION スカラーシップ」
			会員データ・ホームページ等管理費	150,000	NACION ホームページドメイン・サーバーレンタル料、会員データ管理費
			キャリアアップ支援費	250,000	名刺交換会（案内パンフ作成など）、キャリアサポーター（応募パンフ作成など）、予備費
			事務費	490,000	通信費、交通費、会議費、人件費、雑費
			予備費	100,000	
合計	12,359,297		合計	2,640,000	

次年度繰越予定金額　9,719,297 円（10,056,297 円 − 2,640,000 円）

同窓会へ寄付をお願いします。

同窓会事務局では、在校生への奨学金の増額や同窓生のキャリア支援事業を活性化すべく様々な案を検討しておりますが、経費の問題で実現できずにいる企画が多々あります。今後は同窓生及び在校生への支援を拡大していきたいと考えますので、ご賛同いただける会員および関係の皆さまからご寄付を賜りたくお願い申し上げます。尚、ご協力いただきました方々は会報誌にお名前と回生を掲載させていただきますのでご了承下さい。

振込方法

千円を一口として下記の銀行口座までお振込み下さい。
尚、ご本人確認のため、振込者名に学籍番号と氏名をご入力いただくか、
お振込みいただいた旨を同窓会事務局までご連絡ください。

振 込 先

三菱東京 UFJ 銀行　栄町支店　普通 1360405
口座名義：名古屋外国語大学国際経営学部同窓会

会報及び HP への掲載募集

メッセージやイベント情報など、同窓会員へ伝えたい事を無料で掲載しますので、お気軽にご連絡下さい。

注意／個人・団体への誹謗中傷や宗教その他の勧誘目的など、法律に違反する内容や同窓会報に相応しくないと判断する内容は掲載をお断りする場合がありますので、ご了承ください。

広告協賛企業募集

会報やホームページへの広告を募集します。会員ご自身のご商売、お勤めの会社の PR にご利用いただけます。

有料広告となっており、広告費は在校生への奨学金、同窓生のキャリアアップ支援費として活用いたします。

広告方法、利用スペースによって金額が異なりますので、一度同窓会事務局へお問い合わせ下さい。

会員情報変更届

確実に案内等が届くよう、住所などの変更は速やかにご連絡下さい。

変更は NUFS+ の「卒業後の住所変更」よりご連絡下さい。郵送・FAX・Email でも受付けます

【 NUFS+ 】
http：//www.nufsplus.net

同窓会へのご連絡はこちら

〒 470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57
名古屋外国語大学
国際経営学部・現代国際学部同窓会事務局
TEL：0561-74-1111　FAX：0561-75-1723
Email：info@nacion.jp

役　員

畑　恵（会長・2 期）　登立洋平（副会長・10 期）　浅井恭子（副会長・1 期）　石井恵美子（事務局長／会計・1 期）
岩出朋子（会計・2 期）　中村憲広（書記／会計監査・2 期）　瀧　浩史（書記／会計監査・1 期）

幹　事

飯吉美絵（1）　太田友和（1）　加藤優一（1）　神谷理恵（1）　代田喜之（1）　鈴木千賀（1）　鈴木裕介（1）　武原啓子（1）
中川大輔（1）　中野桃子（1）　服部貴子（1）　松原一仁（1）　山口千恵（1）　山崎　豊（1）　浅野享洋（2）　伊藤真彦（2）
大井健一（2）　岡崎由美（2）　原万里子（2）　平林順子（2）　森川浩希（2）　八木正人（2）　荒川誠治（3）　伊藤　望（3）
鳥居佳夫（3）　平井由香（3）　犬飼尚樹（4）　田中文彦（4）　藤田達也（4）　後藤直樹（5）　潮田裕稔（5）　吉田和代（5）
伊藤太一（6）　内門はるか（6）　大石彰則（6）　城月雅大（6）　井上高志（7）　祖父江匡記（7）　竹内千晶（7）　田中潤一（7）
徳山正康（7）　楊　佳（7）　伊藤浩明（8）　藤田浩史（8）　水野裕也（8）　新宮好洋（9）　石井和弥（10）　岡本　愛（10）
坪井祐一（10）　豊田　匡（現 1）　松井麻美（現 1）　半田涼子（現 2）　山崎　晃（現 2）　菅田雅人（現 3）　久保英利香（現 3）

沿　革

2010 年 10 月　交流イベント「山登り」実施
2010 年　7 月　第 6 回総会及び懇親会開催
2010 年　1 月　同窓会報「NACION paper」第 6 号発行
2009 年　7 月　内規の施行
2009 年　7 月　第 5 回総会及び懇親会開催
2008 年 12 月　同窓会報「NACION paper」第 5 号発行
2008 年　6 月　慶弔等に関する規程の施行
2008 年　5 月　第 4 回総会及び懇親会開催
2008 年　4 月　同窓会名称を「名古屋外国語大学国際経営学部・現代国際学部同窓会」（通称：NACION）へ改称
2008 年　1 月　同窓会報「NACION paper」第 4 号発行
2007 年　7 月　第 3 回総会及び懇親会開催
2007 年　5 月　同窓会報「NACION paper」第 3 号発行
2007 年　3 月　個人情報保護に関する規程の施行
2006 年 12 月　同窓会 SNS サイト「NUFS+」開設
2006 年 11 月　同窓会ホームページ「NACION」開設
2006 年 10 月　同窓会報「NACION paper」第 2 号発行
2006 年　7 月　第 2 回総会及び懇親会開催
2006 年　3 月　国際経営学部同窓会報創刊
2005 年 12 月　第 1 回総会及び懇親会開催
2004 年 10 月　国際経営学部同窓会名簿発刊
2004 年　4 月　現代国際学部（現代英語学科・国際ビジネス学科）開設
1998 年　3 月　第 1 期生卒業、国際経営学部同窓会発足
1994 年　4 月　国際経営学部（国際経営学科）開設
1988 年　4 月　名古屋外国語大学創設

会　　則

第１章　総　則
（名　称）
第１条　本会は、名古屋外国語大学国際経営学部・現代国際学部同窓会と称する。
（事務局）
第２条　本会は、名古屋外国語大学内に事務局を置く。
（目　的）
第３条　本会は、会員相互の親睦を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的とする。
（事　業）
第４条　本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
（1）会員の親睦に関する事業
（2）会員名簿の発行
（3）その他前条の目的を達成するための必要な事業
第２章　会　員
（会　員）
第５条　本会は、本学部の卒業生をもって構成する。
第３章　役　員
（役　員）
第６条　本会には、次の役員を置く。
（1）会　　長　１名　（2）副 会 長　２名
（3）事務局長　１名　（4）会　　計　２名
（5）会計監査　２名　（6）書　　記　２名
第７条　本会に卒業年次毎に若干名の幹事を置く。
第８条　本会に名誉会長を置くことができる。名誉会長には、学長を推戴する。
第９条　本会に顧問を置くことができる。顧問は、役員会において推薦する。
（役員及び幹事の選出）
第10条　会長・副会長は総会において選出し、その他の役員は会長が幹事及び会員の中から委嘱する。
2. 幹事となる候補者はゼミで立候補若しくは推薦により選出し、会長に届け出るものとする。
（役員及び幹事の任期）
第11条　役員の任期は２年とする。ただし再任を妨げない。
2. 欠員によって補充された役員の任期は、前任者の残任期間とする。
3. 役員は任期が満了の後でも、後任者が選出されるまで、なお、その職務を行う。
4. 幹事の任期は永続とし、交代したい場合は後任者を選出し、その旨を役員会に届け出ることとする。
（役員及び幹事の職務）
第12条　役員及び幹事の職務は次のとおりとする。
（1）会長は、本会を代表し会務を総括する。
（2）副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
（3）事務局長は、本会の総括事務にあたる。
（4）会計は、会計事務を担当する。
（5）会計監査は、会計を監査し、監査報告書に意見を付し会長に提出する。
（6）書記は、本会の庶務事項を処理し書類を保管する。
（7）幹事は、諸業務を分掌する。

第４章　会　議
（役員会）
第13条　役員会は、会長がこれを招集する。
2. 役員会の議長は、会長が行う。
3. 役員会は、役員の過半数をもって成立し、議事は出席役員の過半数をもって決する。
（総　会）
第14条　総会は、定期総会と臨時総会とする。
2. 定期総会は、年１回開催する。臨時総会は、必要と認めたとき開催する。
3. 定期総会・臨時総会は、会長が招集する。
4. 総会には、議長を置く。議長は総会で選出する。
（総会の審議事項）
第15条　次の事項は総会の議決を経なければならない。
（1）会長・副会長の選任または、解任
（2）本会の事業計画及び収支報告
（3）本会の事業計画及び収支決算
（4）会則の変更に関する事項
（5）その他の本会の業務に関する重要事項
第16条　総会は会員の過半数の出席で成立する。議事は、出席者の過半数で決定し、賛否同数のときは議長が裁定する。欠席の場合は、委任状をもってこれに代えるものとする。
第５章　会　計
（経　費）
第17条　本会の経費は、会費・寄付金をもってこれに充てる。会費は、卒業時に終身会費１万円を納付する。
第18条　会計年度は４月１日から翌年３月31日までとする。
第19条　受け入れた金品は確実な銀行若しくは郵便局に預け入れ保管する。
第20条　すでに納入した会費は、返還しない。
第６章　事務局及び職員
（事務局及び職員）
第21条　本会の事務を処理するため、事務局に職員を置くことができる。
2. 職員は、役員会の同意を経て会長がこれを任免する。
第７章　支　部
第22条　本会は必要と認めた地域に支部を設置することができる。
2. 支部に関する細則は、別に定める。
第８章　会則の改正
第23条　本会会則の変更は、役員会の議を経て総会の承認を要する。
第９章　補　則
第24条　本会則の施行について必要事項の細則は、役員会の議を経て会長が定める。
第25条　会員で住所等の変更又は氏名を改めた場合は、本会に連絡するものとする。
第26条　個人情報の保護に関する規程は別に定める。
第27条　慶弔等に関する規程は別に定める。
附　則　1　この会則は、平成10年３月22日から施行する。
附　則　2　この改正は、平成17年12月10日から施行する。
（第６条及び第12条関係）
附　則　3　この改正は、平成19年３月１日から施行する。（第26条関係）
附　則　4　この改正は、平成20年４月１日から施行する。
（第１条関係、名称変更について）
附　則　5　この改正は、平成20年６月１日から施行する。（第27条関係）

個人情報の保護に関する規程

第１条　この規程は、名古屋外国語大学国際経営学部・現代国際学部同窓会会則第26条に基づき、個人情報保護について定める。
第２条　名古屋外国語大学国際経営学部・現代国際学部同窓会（以下、「当会」という。）は会の目的を遂行するにあたり、「個人情報の保護に関する法律」（個人情報保護法）に基づいて個人情報を適正に取り扱うため、下記のとおり方針を定める。
第３条　当会では、会員に関する情報を以下の目的のために利用する。
1. 会員相互の親睦活動
2. 大学との連携による事業活動
3. 在学生の支援活動
4. 印刷物の発行・発送
5. インターネットを利用した情報の発信
6. その他、同窓会活動に関連する業務
第４条　当会では、「1. 個人情報の収集・利用の目的」を達成するため、次の情報を収集する。
1. 氏名・現住所・現住所の電話番号・メールアドレス
2. 勤務先
3. 生死に関する情報
4. その他、当会の活動のために必要と判断する情報
第５条　当会は、次の場合を除き、個人情報を第三者に提供しない。
1. 会員の同意がある場合
2. 名古屋外国語大学の依頼に基づく場合
3. 各種法令に基づく場合
第６条　同窓会事務局は、会員に関する情報を常に正確で最新のものに保つよう努めるとともに、当会外への漏洩、滅失または棄損が発生しないよう万全を尽くすこととする。また、業務遂行上の必要性から外部業者に業務委託等を行う場合は、委託先等に機密保持義務を課すなどその管理・監督に努め、個人情報の流出・不正使用・改ざん等を防止する。
第７条　この規程の改正及びこの規程に関する細則は、役員会の儀を経て会長が定めることとする。

慶弔等に関する規程

第１条　この規程は、名古屋外国語大学国際経営学部・現代国際学部同窓会会則第27条に基づき、会員及び教授（退任者含む）の慶弔等について定めるものとする。
第２条　会員及び教授（退任者含む）に対する慶弔金については次のとおり定める。これは同窓会本部へ通達のあった場合に支給することとし、通達する者の故人との関係は特に問わない。
1. 会員または教授（退任者含む）の死亡（告別式等より前の通達）　香典１万円、他に弔電
2. 会員または教授（退任者含む）の死亡（告別式等から３ヶ月以内の通達）　香典１万円
3. 会員または教授（退任者含む）の死亡（告別式等から３ヶ月以上経過した後の通達）　支給不可
ただし、同窓会及び母校の発展に寄与した会員及び教授（退任者含む）についてはこの限りではない。
第３条　本会の活動及び母校の発展に特に貢献した会員及び教授（退任者含む）には、感謝状と記念品を贈呈する。
第４条　この規程の改正及びこの規程に関する細則は、役員会の儀を経て会長が定めることとする。